

収支予算書

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

一般社団法人 鐵鋼會館

令和5年度事業計画（案）

（1）令和5年度収支予算（案）

（単位：千円）

	令和5年度予算案	令和4年度予算	前年度比
経常収益	43,650	41,101	2,549
経常費用	56,943	61,073	-4,129
経常損益	-13,293	-19,972	6,678

期末正味 財産残高	510,311	523,805	-13,493
--------------	---------	---------	---------

① 経常収益

令和5年度は、「受取会費」については、会員維持に努めながらも前年度減の予算を計上しています。

また、もう一つの柱である「会議室賃貸料」については、令和5年度予算においては、新型コロナウイルス感染防止の影響からの回復、さらにはセキュリティ機能の充実した高速無線wifi導入による利用の拡大をはかり、3,000千円の増加を計上しています。

今後も会議室賃貸料の維持・拡大を少しでも図るべく、一般の休日利用受け入れを継続するとともに、会員の皆様により一層会議室をご利用頂くべく、引き続き会議室利用・利便性の向上を図っていく所存です。

さらに、事業準備資金につきましても、一般社団法人としての性格上、安全性に最重点を置きつつ、利回りも重視し、定期預金のほかに国債を購入するなどにより、その運用をはかってまいりたいと考えております。

結果 事業収益、受取会費及び雑収益の合計経常収益は、前年度予算に対して2,549千円の増加の43,650千円を計上しております。

② 経常費用

令和5年度は、56,943千円（対前年度4,129千円減少）を見込んでおります。基本的には、種々経費削減を見込みながら、前年度をベースとした予算計上としております。

令和5年度は、昨年度に計上した、職員の退職による退職金支払いや、職員の人事異動にかかわる給与・通勤費の重複がなくなることから、経費は大きく減少

します。

なお、移転後約11年を経過し、必要最低限の什器の補充・修理も勘案しながら1,000千円の経費負担を計上させていただきました。

今後につきましても、少しでも諸経費のコストダウンを図ることにより費用削減に最大限努力していく所存です。

③ 経常損益および期末正味財産残高

結果として本年度の経常損益は13,293千円の赤字の予算とさせていただきました。また、法人税、住民税および事業税を加味した期末正味財産残高につきましては、前期から13,493千円減少して510,311千円となり、実質の減少分につきましては、現預金の切り崩しにより賄う所存です。

尚、事業準備資金5億円については、鐵鋼會館の健全経営に資すべく、引き続き、「鐵鋼會館資金運用規則」に則り安全確実に運用してまいりますが、赤字分の一部につきましては、取り崩しにより賄いたいと考えております。ご了承くださいたくお願いいたします。

(2) 一般社団法人移行に伴う公益目的支出計画の遂行

平成25年度よりの一般社団法人への移行に伴い、今後とも公益目的支出計画の着実なる遂行に努めてまいります。

大阪府認定公益目的支出計画

(公益目的財産額： 623,870千円 公益目的支出実施期間： 39年間)

(3) 事業活動について

令和5年度につきましても、引き続き下記事業を継続実施致します。

1. 公益用途及び一般用途向け貸し会議室事業

引き続きご利用者の利用促進に努めるとともに、公益目的での会議室利用に関しては、会員以外でも会員価格での優遇処置を実施してまいります。

2. 講演会等の実施

複数回/年の実施予定ですが、コロナの状況により、引き続きやむなく開催を見送ることもあるものとして検討してまいります。

3. テナント事業

テナントの実施する講習会、各会合を引き続き支援してまいります。

4. 会員親睦事業

在阪鉄鋼新年賀詞交換会の開催。(令和6年1月9日(火)予定)

昭和24年の設立以来、関西の鉄鋼及び金属業界の活動拠点として、会員各位のご指導とご協力を得て運営してまいりました。

今後とも会員各位のご理解のもと、健全経営基盤の確保に注力するとともに、更なる鉄鋼會館の健全な運営と、会員の皆様にとってより使い易く快適な施設の提供に努力して参ります。

以 上

収支予算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	令和5年度予算額	令和4年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[24,144,000]	[25,200,000]	-1,056,000
正 会 員 会 費 収 入	18,576,000	19,632,000	-1,056,000
賛 助 会 員 会 費 収 入	5,568,000	5,568,000	0
事 業 収 益	[18,999,048]	[15,811,000]	3,188,048
会 議 室 賃 貸 料 入	12,000,000	9,000,000	3,000,000
テ ナ シ ョ ン 収 入	4,751,772	4,751,000	772
業 務 受 託 収 入	1,760,000	1,760,000	0
飲 食 等 手 数 料 入	487,276	300,000	187,276
講 習 会 等 収 入	-	-	0
受 取 寄 付 金	[]	[]	0
雑 収 益	[507,500]	[90,000]	417,500
受 取 利 息 益	507,500	10,000	497,500
雑 収 入 益	-	80,000	-80,000
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	-	-	0
経常収益計	43,650,548	41,101,000	2,549,548
(2) 経常費用			
給 料 手 当	15,409,000	16,800,000	-1,391,000
退 職 給 付 費	196,200	2,926,200	-2,730,000
地 代 家 賃	30,881,592	30,800,000	81,592
出 張 費	150,000	150,000	0
通 勤 費	25,000	50,000	-25,000
福 利 厚 生 費	1,005,906	940,000	65,906
通 信 運 搬 費	2,100,000	2,100,000	0
消 耗 品 費	356,840	320,000	36,840
修 繕 費	1,000,000	1,300,000	-300,000
支 払 報 酬 費	55,000	-	55,000
会 館 管 理 費	1,393,900	1,280,000	113,900
水 道 光 熱 費	458,616	500,000	-41,384
保 険 賃 料	2,054,000	1,500,000	554,000
減 価 償 却 費	248,350	240,000	8,350
貸 倒 引 当 金 繰 入	523,680	526,514	-2,834
慶 弔 交 際 費	-	-	0
租 税 公 課	150,000	150,000	0
支 払 手 数 料	245,700	310,500	-64,800
調 査 研 究 費	76,475	120,000	-43,525
広 告 費	53,784	160,000	-106,216
雑 講 習 会 費	348,700	550,000	-201,300
講 習 会 費	111,085	50,000	61,085
講 習 会 費	100,000	300,000	-200,000
経常費用計	56,943,828	61,073,214	-4,129,386
評価損益等調整前当期経常増減額	-13,293,280	-19,972,214	6,678,934
評価損益等計	-	-	0
当期経常増減額	-13,293,280	-19,972,214	6,678,934
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	-	-	0
当期経常外増減額	-13,293,280	-19,972,214	6,678,934
税引前当期一般正味財産増減額	-13,293,280	-19,972,214	6,678,934
法人税、住民税及び事業税	200,000	200,000	0
当期一般正味財産増減額	-13,493,280	-20,172,214	6,678,934
一般正味財産期首残高	523,805,079	543,977,293	-20,172,214
一般正味財産期末残高	510,311,799	523,805,079	-13,493,280
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	-	-	0
指定正味財産期首残高	-	-	0
指定正味財産期末残高	-	-	0
III 正味財産期末残高	510,311,799	523,805,079	-13,493,280